

漢字の成り立ち

川は水の流れる形から

目標と
振り返り

□ 漢字の成り立ちについての理解を深める。

漢字は、一つの文字で意味と音の両方を表します。漢

字は、主として次の四種類の方法で作られています。

象形文字……ある物を簡略な図形にして作られた文字。

例 川・山・日・雨・耳・火・門・犬

指事文字……形のない事物を、点や画を用いて表現した

文字。多くの場合は、象形文字に点や画を加える。

例 本・未・末・上・下

会意文字……既にある文字を二つ以上組み合わせ、新し

い意味を表した文字。

例 林(木+木) 鳴(口+鳥) 解(刀+牛+角)

形声文字……意味を表す漢字や部分と、音を表す漢字や

部分とを組み合わせて作られた文字。

例 江(シ+工) 河(シ+可) 汁(シ+十)

汗(シ+干) 泳(シ+永) 洋(シ+羊)

漢字には、音に関係なく、ある漢字の意味が転じて他

の意味ができた「**転注**」という用法があります。例え

ば、「**楽**」は、もともと音楽の意味を表す「**ガク**」とい

う発音でしたが、「**楽しい**」という意味が生まれて「**ラ**

ク」という発音も用いられるようになりました。

その意味を表す漢字がないため、同じ発音の漢字を借

りてくる「**仮借**」という用法もあります。例えば、「**北**

は、背中を向け合っている状態を表す会意文字でしたが、

後に方角を表す文字として使われるようになりました。

以上のような方法をもとにして、日本で作られた漢字

もあります。これを「**国字**」と呼びます。

例 畑・峠・榨・込・働

練習

1 次の漢字の成り立ちを、漢和辞典を使って確かめよう。

- (1) 鳥
- (2) 中
- (3) 凸
- (4) 崩
- (5) 及
- (6) 三
- (7) 凹
- (8) 鋼
- (9) 串
- (10) 浦
- (11) 岬
- (12) 弧
- (13) 庸
- (14) 礎
- (15) 兼
- (16) 篤
- (17) 鑄
- (18) 囑
- (19) 兼
- (20) 召

2 次の□に入る漢字を、あとの()の中から一つ

ずつ選び、文を完成させよう。

- (1) 観客が大きな□手をする。
宿□代の勘定をすませる。
隣人から□来品の傘をもらおう。
- (2) 長兄が□丸投げの選手になる。
長年、時間を割いた努力が水□に帰する。
植物が□子を飛ばす。

15 10 5

この教材で学ぶ漢字

岬	浦	串	鋼	凹	及	崩	凸	杵	汗	汁
みさき	うら	くし	コ	オウ	およぶ	くずれる	トツ	わく	あせ	しる
岬の灯台	津々浦々	竹串	禁鋼	凹面鏡	及第	壁が崩れる	凸レンズ	木の杵	冷や汗	果汁
隣	勘	召	兼	囑	鑄	篤	踪	礎	庸	弧
リン	カン	シヨウ	ケン	シヨク	チュウ	トク	ソウ	ソ	ヨウ	コ
隣り合う	勘案	召集	兼業	囑望	鑄造	篤学	失踪	基礎	租調庸	円弧

砲	胞	舶	傘
ホウ	ホウ	ハク	カシ
大砲	細胞	船舶	傘立て

新出音訓
長兄★(ケイ)
割★(きく・カツ)



四季のたより

夏

ほととぎす

昼の炎暑がようやくおさまる頃、短夜を鳴きわたるほととぎすの声、人々にひとときの涼感リョウカンを催させます。



壬み生ぶ忠の岑ただ
峯みね

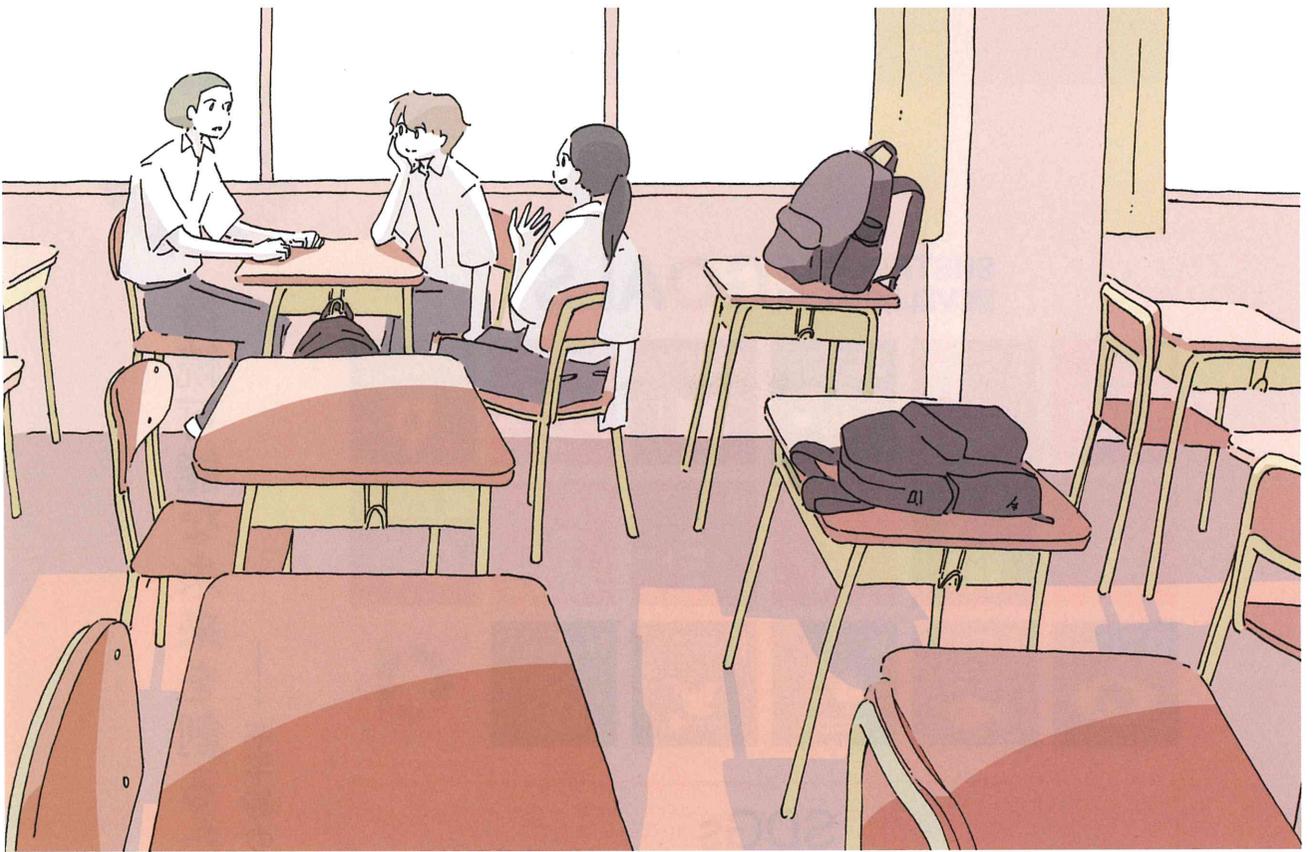
暮るるか 見れば 明けぬる 夏の夜を

飽あかずと や鳴く 山ほととぎす

ほととぎす 平安城へいあんじやうを筋違すぢかひに

燕ぶ村そん





四 情報を捉える

総合(SDGs) 持続可能な未来を創るために

—— 不平等のない社会を考える

「ここにいる」を言う意味

ロバートキャンベル

事例と論の展開

紙の建築 坂茂

広がる本の世界 4

構成を明確にする

構成を明確にして説明文を書く

文法の小窓 2 活用のある自立語

漢字の練習 2

四季のたより 秋 紅葉